

岐阜県立土岐商業高等学校

校 長 正 村 達 裕
学校所在地 土岐市土岐津町土岐口1259-1
電 話 0572-54-1291

1 会議の名称 岐阜県立土岐商業高等学校 学校評議員の会（第1回）

2 会議の構成（敬称略／50音順）

委員	犬 塚 和 世	元土岐商業高校育友会役員
	田 口 力	東海旅客鉄道（株）土岐市駅長
	竹 下 啓 太	名古屋工学院専門学校メディア学部部長
	土 本 典 良	土岐市土岐口財産区議長
	土 屋 早百合	土岐地区更生保護女性会理事

学校側	校 長	正 村 達 裕
	教 頭	原 祐 一
	事 務 長	老 田 晃 聖
	教 務 主 任	村 橋 昌 則
	生徒指導主事	中 澤 正 仁
	進路指導主事	水 野 智恵美
	教務部（記録）	高 澤 亜紗子

3 会議の目的

学校運営や教育活動等について地域の有識者や関係機関・団体等の代表者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進し、生徒の健やかな成長を図る。

4 会議の開催 日 時 平成29年6月21日(水) 13:30 ～ 15:00

場 所 土岐商業高等学校校長室

出席者 委員4名 学校側7名 計11名が参加

*校長の挨拶後、本校の教育について説明し、意見交換を行った。

5 会議の概要

テーマ（1）本校の教育について（本年度の成果と課題）

各分掌（教務部、生徒指導部、進路指導部）より本年度の成果と課題についての説明を行った。その主な内容は下記のとおりである。

（1）教務部

①基礎的・基本的な学力の定着

ア 家庭学習の習慣化と資格取得：

全商検定 1 級 3 種目の取得者数 100 名以上を目標に指導しており、昨年度は 116 名と一昨年度よりも 30 名増加した。全商検定 1 級 3 種目以上の取得者数は全国 24 位、岐阜県内でも 3 校しか 30 位以内に入っていないため、これを維持していきたい。

イ 遅進者の把握・課題の期限提出・考査の事前指導

ウ 年間指導計画の作成

エ 授業研究の設定と授業改善

生徒主体の授業を展開するために、11 月に教員の研究授業週間を設けている。

オ 各教科で年間反省を作成

カ 授業時間の確保

②積極的な広報活動の展開

ア 高校説明会や中学校訪問等の実施

今年度から中学校に出向き、先生向けに説明会を開催している。

昨年度から公立高校の合同説明会を実施している。

HP の更新と充実化を図る。

イ 授業参観の実施と施設設備・部活動等の紹介

③特色ある学校・学科作りの推進

ア 専門的な学習内容、取得したい資格、進路実現を視野に入れた教育課程の作成

イ 各学科・コースの課題とその改善

④校務の効率化と情報の共有化

ア 「e-教務」等による情報の管理・運用

イ 会議の効率的な計画と運用

（2）生徒指導部

①交通事故の現状について

H27 の 13 件から H28 の 5 件と減少している。

事故の内容としても自損事故が 3 件、対車両事故については 2 件と減少している。

年 2 回の自転車点検、生徒による交通安全集会を開いた。

②遅刻について

H28 の目標は 200 件以内だったが、195 件に収まった。

今年度もすでに例年通りの数があるが、寝坊等の怠けによる遅刻は減少している。

③部活動の成績について

ウエイト部が 6 名、陸上部が 2 名、計 8 名の全国大会出場が決定している。

珠算部（珠算団体 4 名・電卓個人 1 名）・ワープロ部（4 名）・情報処理研究部（4 名）

・簿記部（1 名）計 14 名の全国大会出場が決定している。

(3) 進路指導部

①今年度の取り組み

ア 望ましい勤労観・職業観を育成

イ キャリア教育を推進し、主体的な進路選択ができるようガイダンス機能の充実

ウ 進路実現ができるよう確かな学力や専門的な知識・技能を身につけるための指導の充実
外部模試や適性検査を定期的実施している。

表現力・コミュニケーション力を身につけるための支援を行っている。

テーマ(2):意見交換・質疑応答

質問1: 定員割れを起こした場合は、全員入学できるのか。

回答1: 必ずしも全員が入学できるわけではない。

質問2: 就職する場合は、必ず試験を行うのか。

回答2: すべての事業所で試験を行っている。ほとんどの事業所で面接を実施している。

意見1: 中学生に向けて、具体的な取り組みや土岐商業高校の良さをアピールしたり、OBが高校生活について話したりする場があればよいと思う。

意見2: 岐阜県内では、次の中学1年生の人口は増えるがその次の年は激減する。現代の生徒はAOで早めに決めたいという意識が強い。商業科で勉強したことが、就職に直結してくれればよい。
2020年から中学でプログラミング教育が始まり、現在と違った生徒が入学してくる。
2030年からAIの進化に伴って雇用がなくなると言われている。その対策も必要である。

意見3: 昨年度から「挨拶デイ」が始まった。7月4日に土岐市で保護者の皆さんが27~28か所に立って挨拶運動を行う。この辺だと登校坂の下に立って挨拶運動を行う予定である。

意見4: この学校は、服装もきちんとしており、企業にすぐに実践的に使える人材を育成している。中学校とどう連携していくのか、学校の良さをどう伝えていけばよいのか考えていくべきだ。

回答3: 中学の先生は普通科卒業が多い。これからもできるだけ商業高校を理解してもらうため、今後も情報発信を行っていききたい。

意見5: 成功したOBが多いので、その方々を呼んで中学校で話をしてもらうことができればよい。
OBに一言意見をいただいて、一覧表にして出してもよい。

回答4: 私たちが知らないだけで、周りにはたくさんのOBがいる。こんな人がいらっしやるということがあればぜひ教えていただきたい。

6 会議のまとめ

本校でもビジネス情報科が定員割れするなど厳しい状況ではありますが、社会の変化に対応しながら、ITプログラミングなど求められる人材の育成に努めて参ります。そして、その成果を進路などのわかりやすい形で示していければと考えています。また、地域との連携にも努めて参りたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。本日はお忙しい中ありがとうございました。